

令和2年度予算が、岩倉市議会3月定例会で可決されました。  
 そこで、予算の内訳や本年度新たに取り組む事業および主要事業を岩倉市の普遍的な将来都市像である「健康で明るい緑の文化都市」を実現するための第4次総合計画の6つの基本目標に沿って紹介します。

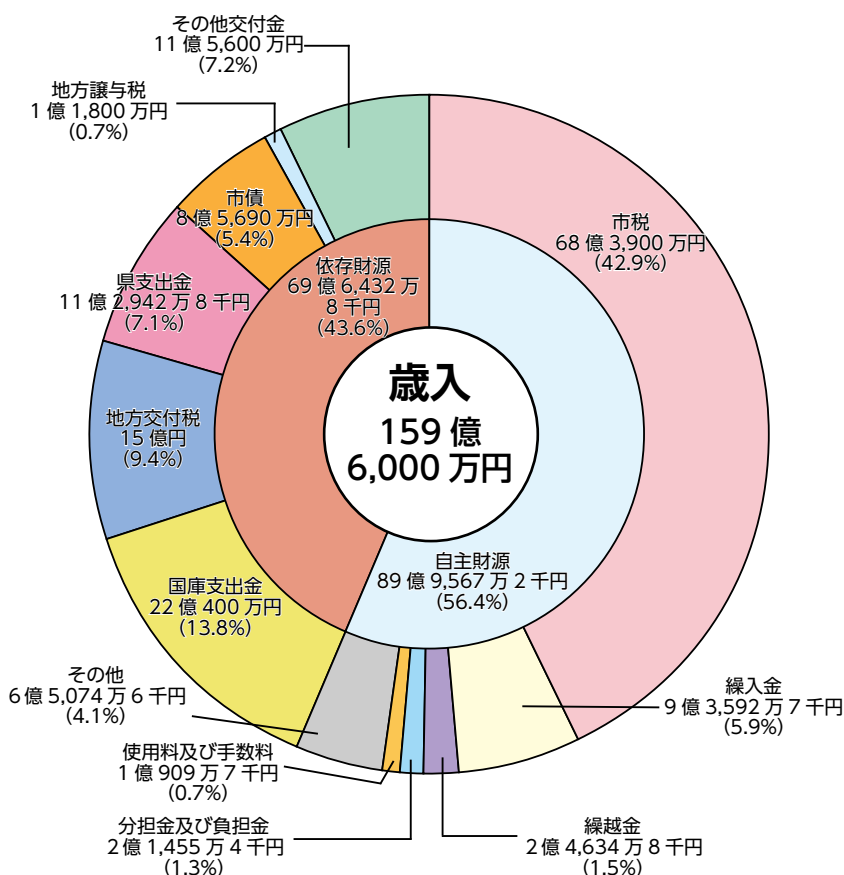
会計名	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	159億6,000万円	157億円	1.7%
特別会計	79億6,972万円	79億500万円3千円	0.8%
国民健康保険	40億3,227万7千円	41億2,954万円	▲2.4%
土地取得	1,006万3千円	2,911万9千円	▲65.4%
介護保険	32億932万円	30億7,761万円	4.3%
後期高齢者医療	7億1,806万円	6億6,873万4千円	7.4%
企業会計	34億1,419万7千円	33億2,383万2千円	2.7%
上水道事業	12億8,867万3千円	11億2,494万4千円	14.6%
公共下水道事業	21億2,552万4千円	21億9,888万8千円	▲3.3%
合計	273億4,391万7千円	269億2,883万5千円	1.5%

- **予算** 市の1年間における収入・支出の見積りであると同時に支出額と支出の内容を制限する拘束力を持つものです。市長が議会に提案し、議会の議決によって成立します。
- **一般会計** 市の会計の基本となるものです。市税収入を主な財源として、教育・福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費の合計です。

- **特別会計** 特定の事業を行う場合、その特定の歳入を特定の歳出に充て、一般会計と別に経理する会計です。岩倉市では、国民健康保険など4つの特別会計があります。
- **企業会計** 民間企業と同じように、独立採算制を原則とする事業を経理する会計です。岩倉市では上水道事業会計、公共下水道事業会計があります。

## 一般会計歳入

歳入の構成比



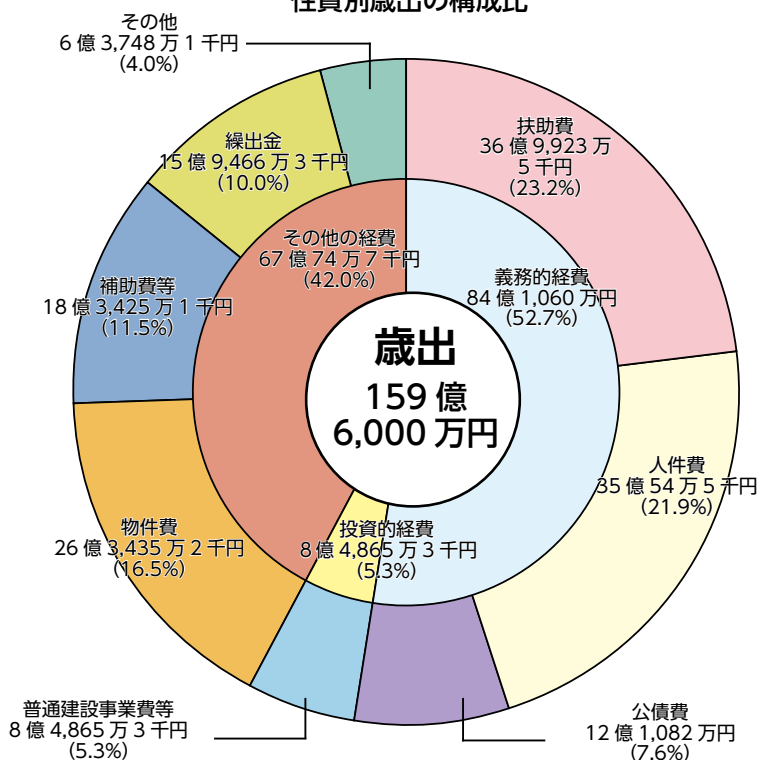
用語解説

- **市税**…市民税や固定資産税など、市に納められる税金
- **繰入金**…基金（市の貯金）などから繰り入れるお金
- **繰越金**…前年度から繰り越されたお金
- **分担金及び負担金**…保育園の保育料など、特定のサービスを受けた人から納められるお金
- **使用料及び手数料**…市の施設の使用料や証明発行手数料などとして納められるお金
- **その他の収入**…財産収入、預金利子、寄附金など
- **国庫支出金**…市が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金
- **地方交付税**…地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるように、一定の基準により国から交付されるお金
- **県支出金**…市が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金
- **市債**…市が行う事業の財源として、国などから借り入れるお金
- **地方譲与税**…国税として徴収され、一定の基準により市に分配される税金
- **その他交付金**…地方消費税交付金、環境性能割交付金など、国や県からの各種交付金

# 一般会計歳出

## 性質別歳出

性質別歳出の構成比

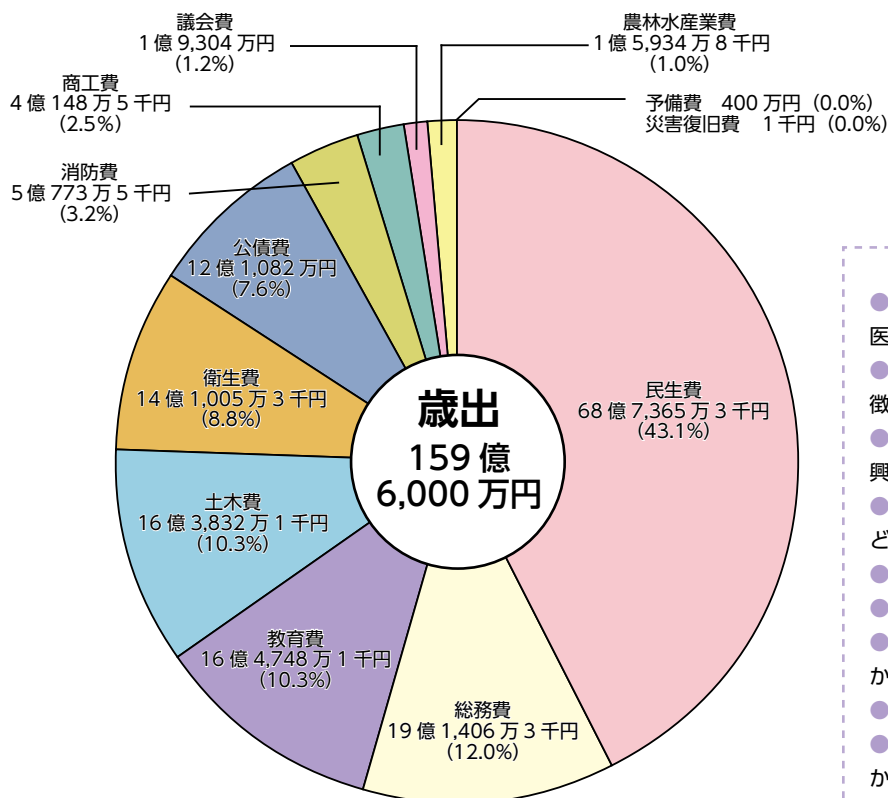


### 用語解説

- 扶助費…生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて、市民の生活を維持するために支出される経費
- 人件費…職員などに対し、給料、報酬として支払われる経費
- 公債費…市が国などから借り入れた借金の返済に充てる経費
- 普通建設事業費等…道路の新設や公共施設の新築・改修などの建設事業にかかる投資的経費
- 物件費…旅費、委託料、消耗品費、光熱水費などの消費的経費
- 補助費等…さまざまな団体等への補助金、負担金、報償費、寄附金など
- 繰出金…一般会計と特別会計または特別会計相互の間で支出される経費
- 義務的経費…人件費や扶助費等、支出が義務づけられ任意に削減できない経費
- 投資的経費…普通建設事業費等、支出の効果が資本形成に向けられる経費

## 目的別歳出

目的別歳出の構成比



### 用語解説

- 民生費…児童・高齢者・障がい者の福祉、医療や保険、生活保護などにかかる経費
- 総務費…企画、財政、人事、広報、選挙、戸籍、徴税、防犯、防災などにかかる経費
- 教育費…学校教育や生涯学習、スポーツ振興などにかかる経費
- 土木費…道路や橋、公園、下水道の整備などにかかる経費
- 衛生費…環境、保健衛生などにかかる経費
- 消防費…救急や消防などにかかる経費
- 商工費…商工業、観光、消費者行政などにかかる経費
- 議会費…議員報酬や議会運営にかかる経費
- 農林水産業費…農林水産業の振興などにかかる経費

## 安心していきいきと暮らせるまち（健康・福祉）

- **健幸情報ステーション登録事業**・・・・・・・・・・34万1千円  
市民の生活習慣病予防を中心とした健幸づくりを推進するため、市が取り組む食育や運動習慣づくりなどの健幸づくりに関する情報を提供する事業所を「岩倉市健幸情報ステーション」として登録し、健幸情報を発信します。
- **健幸づくり条例啓発事業**・・・・・・・・・・55万円  
「健幸づくり条例」を市民に広く周知し、健幸づくりを一層推進するため、健幸づくりシンポジウムの開催やリーフレットの作成を行います。
- **新生児聴覚検査費助成事業**・・・・・・・・・・231万8千円  
聴覚障がい<sup>えん</sup>の早期発見・早期療育を図るため、全ての新生児を対象として聴覚検査を実施し、検査に要する費用を助成します。



- **訪問歯科健康診査事業**・・・・・・・・・・25万3千円  
歯周疾患や誤嚥性肺炎<sup>えん</sup>の予防、口腔機能の低下防止を図るため、歯科健康診査を受けることができない在宅療養者を対象に訪問による歯科健康診査を実施します。
- **特定健康診査受診勧奨業務委託事業**  
(国民健康保険特別会計)・・・・・・・・・・400万円  
特定健康診査の受診率の向上を図るため、特定健康診査の未受診者に対して、AI(人工知能)を用いた分析による効率的かつ効果的な受診勧奨を行います。

## 自然と調和した安全でうるおいのあるまち（環境・防災防犯）

- **夢さくら公園整備事業**・・・・・・・・・・8,748万円  
令和元年度に実施した詳細設計に基づき、旧学校給食センター跡地の公園整備工事および事務棟の改修工事を行います。
- **(仮称) 路上喫煙等規制条例制定業務**  
・・・・・・・・・・54万5千円  
安全、安心で快適な生活環境の確保および望まない受動喫煙の防止を目的として、検討委員会を設置し、「(仮称)路上喫煙等規制条例」を制定します。
- **スプレー缶等処理事業**・・・・・・・・・・79万7千円  
令和2年10月(予定)から、火災等の事故を未然に防ぐため、スプレー缶等の穴開け作業等を業務委託し、スプレー缶等を市民が穴を開けずに排出する体制を整備します。
- **高齢者後付け安全運転支援装置設置補助事業**  
・・・・・・・・・・192万円  
交通事故防止を図るため、運転免許を保有する65歳以上の人を対象に後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置の購入費用を補助します。
- **国土強靱化地域計画策定事業**・・・・・・・・・・960万円  
大規模自然災害等に備えるため、事前の防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進するため、国土強靱化地域計画を策定します。

## 豊かな心を育み人が輝くまち（生涯学習・教育）

- **下田南遺跡発掘調査事業**・・・・・・・・・・2億6,817万9千円  
川井野寄地区での土地開発事業区域内の一部が下田南遺跡として指定され、発掘調査が必要なため、令和元年度から引き続き実施します。
- **総合体育文化センター外壁全面打診調査**  
・・・・・・・・・・203万5千円  
修繕が必要な箇所を把握するため、総合体育文化センターの外壁の打診調査を実施します。
- **岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業**  
・・・・・・・・・・5,972万4千円  
岩倉北小学校の屋内運動場に放課後児童クラブ施設を併設した複合施設を建設するための実施設計を行います。

## 快適で利便性の高い魅力あるまち（都市基盤）

- ふれ愛タクシー事業・・・・・・・・・・1,522万8千円  
高齢者、障がい者および子育て世代等の外出・移動支援を目的として、民間タクシー事業者の空車車両を活用し、市内の送迎をします。
- 名鉄石仏駅等整備事業・・・・・・・・1億2,614万4千円  
東側駅舎の整備に併せ、周辺道路の利便性・安全性を高めるため、道路改良工事を実施します。さらに、駅東側に公衆トイレを整備するための設計を実施します。

また、名古屋鉄道（株）が実施する西側駅舎等のバリアフリー化に係る費用の一部を負担します。

- 経営戦略策定事業（上水道事業会計）  
・・・・・・・・・・981万2千円  
計画的かつ合理的な事業の経営と、収支の改善を通じた経営基盤の強化を図ることを目的に「経営戦略」を策定します。

## 地域資源を生かした活力あふれるまち（産業・観光）

- 企業庁土地開発関連事業・・・・・・・・・・7,718万円  
川井野奇地区での土地開発事業に必要な配水管布設工事や区域内での測量等を実施します。また、事業に係る代替地取得者等に対し奨励金を交付します。

- シティプロモーション事業  
（市制50周年記念映像作成）・・・・・・・・263万2千円  
市民と一体となり50周年を祝う機運を高めるとともに、将来に向けた市に対する愛着や誇りの醸成を図るため、令和2年度からの2か年で、市民参加による50周年記念映像を制作し、市制50周年記念式典を始め市内外に向けて広く発信します。

## 市民とともに歩むひらかれたまち（協働・行財政運営）

- 外国人サポート窓口設置事業・・・・・・・・81万8千円  
市民窓口課に翻訳機および直通電話を設置し、多言語による情報提供や外国人支援員による各種行政手続きの支援および生活に関する相談支援の拡充を図ります。



- RPA等導入事業・・・・・・・・・・242万5千円  
市民からの問い合わせをパソコンやスマートフォンを利用し、市民が聞きたい、知りたい情報を24時間365日、AIが会話形式で自動的に答えるAI総合案内サービスを導入します。また、事務処理の負担軽減を図るため、電子データを基に各情報システム間や文書・表計算ソフト等と連携し、業務を自動化するRPAツールおよび手書きの情報を電子化することができるAI-OCRを導入します。

- 第5次総合計画策定事業・・・・・・・・・・890万2千円  
令和2年度は、3か年の総合計画策定事業の最終年度となり、平成30年度に定めた策定方針の4つ基本姿勢に基づき検討を進め、市民参加機会を確保しながら、策定します。

- 市制50周年記念事業・・・・・・・・・・324万1千円  
「市民の夢 協えるプロジェクト」、[いわくら名産品（お土産）開発事業] および機運醸成のための周知啓発を行います。また、観光振興事業（冬の鍋フェス）、スポーツ振興事業（いわくら市民健康マラソン）も市制50周年記念事業として実施します。

